



長崎県内議会トップ10を公開 1位は小値賀町議会 2町議会が全国トップ10入り 「議会改革度調査2017」ランキング 早大マニフェスト研調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月15日、2017年度「議会改革度調査」の長崎県内ランキング上位を公開しました。

1位は小値賀町で、長与町、諫早市が続きました。上位2議会は町議会となりましたが、ともに順位を上げて全国100位以内に入る結果となりました。

▽詳細は以下のURLからご覧ください

<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>



▼長崎県内の議会ランキング TOP10

※総合順位の300位以下、前年未回答は「-」と表記。 ※長崎県内は20議会が回答（回答率91%）

県内順位	議会名	総合順位	総合前年比
1	小値賀町議会	38	+23
2	長与町議会	52	+153
3	諫早市議会	113	-49
4	長崎県議会	233	+97
5	大村市議会	262	-20
6	長崎市議会	-	-
7	杵岐市議会	-	-
8	新上五島町議会	-	-
9	西海市議会	-	-
10	川棚町議会	-	-

■TOP3議会、注目議会の特徴

- ・ **1位【小値賀町議会】** 出前議会や模擬公聴会（一般質問時・本会議休憩中）で議論が活性化されている。議会モニターも設置。「議会と語ろう会」では若い世代や女性と意見交換を行っている。
- ・ **2位【長与町議会】** 「町長の専決処分事項の指定に関する条例」を議員提案で制定。住民からの要望のみではなく議会側からの申し入れで住民懇談会を開催できるようにした。Facebookも活用。
- ・ **3位【諫早市議会】** 女性議員による議会活動が促進されるよう、諫早市議会会議規則に定める会議・委員会への欠席理由として、出産を明記している。タブレット導入で、資料電子化等を推進。
- ・ **注目【大村市議会】** 市内各団体を対象にした、市民と議会のつどい「語ってみゅーか」を8地区で開催。住民から出た意見と議会の回答（市側からの回答も含む）をネット公開している。

▼議会改革度調査2017について

【調査概要】 2018年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し1,318議会が回答。

（回答率74%）。2010年度から今回で8回目の調査となる。

≫詳細：<http://www.maniken.jp/gikai/2017gaiyo.pdf>

◇ 今後、「議会改革度調査2017」の新たな情報は早大マニ研HPで公開します。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 永尾、青木

TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>